

2024 年度

認定看護管理者教育課程

ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル

募集要項



公益社団法人 **福岡県看護協会**

目 次

1. 教育機関の概要	1
2. 教育理念	1
3. 3課程教育内容	2～4
4. 受講要件・開催期間・応募期間	5
5. 受験料・受講料	5
6. 申込方法	6
7. 小論文テーマ・小論文評価基準	7～8
8. 選考方法	8
9. 選考結果の通知	8
10. 修了要件（3課程共通）	9
11. 個人情報の取り扱い	9
規定書類 受講出願リスト（様式1）	10
勤務証明書（様式2）	11
職位証明書（様式3）	12

公益社団法人福岡県看護協会 認定看護管理者教育課程

1. 教育機関の概要

看護管理者に課せられた役割は、質の高い看護サービスの提供、看護職の職場定着支援、職場環境の改善、経営への参画など、多岐にわたる。看護管理者には、創造的に組織を発展させることができる能力が求められ、質の高い認定看護管理者教育への需要は高まっている。

公益社団法人福岡県看護協会では、このような状況を踏まえ、1993年にファーストレベル教育課程、2000年にセカンドレベル教育課程を開講した。さらに2010年からサードレベル教育課程を開講し、同一施設におけるファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルと、一貫性をもった認定看護管理者教育を実現している。

研修期間を数ヵ月とし、週の半分に分散して開催することで、看護管理者が現場の職責を果たしながら受講ができ、学習内容を現場の管理実践に結び付けられるようにしている。

2018年3月の日本看護協会認定看護管理者カリキュラム基準改正に沿って、当協会では2019年度に開講する3課程の改正を行った。3課程の教科目が統一され、より段階的に管理を学ぶ構成となった。ファーストレベルにおいては、総時間数が45時間短縮となり管理業務に関心のある看護職が、より受講しやすい体制とした。また、3課程の教科目すべてに統合演習が組み込まれ、各段階において学習効果をより実践で活かせるようになっている。

2. 教育理念

本教育機関の教育理念は、「看護職のキャリア形成を支援し、多様化するヘルスケアニーズに対応し、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献できる人材を育成する。」ことである。

本教育課程では、看護管理に関心がある看護職、または看護管理業務に携わっている看護職が、自律的・自発的に研鑽し合える教育・研修の場となることを意図する。変動する社会情勢及び保健・医療・福祉環境の中で、社会が看護管理者に求める能力を身につけ、役割を果たすために学び、看護管理者間でのネットワークを構築する。さまざまな場でリーダーシップを発揮し、ビジョンをもって積極的に課題に取り組み、新しい時代に向かって常に看護の変革を起こすことができる看護管理者を育成する。

3. 3課程教育内容

1) ファーストレベル

【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

【到達目標】 1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
3. 看護管理者の役割と活動を理解、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

目科教	単元	教育内容	時間数
ヘルスケアシステム論 I	1) 社会保障制度概論	・ 社会保障制度の体系 ・ 社会保障の関連法規	15時間
	2) 保健医療福祉サービスの提供体制	・ 保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム、地域共生社会	
	3) ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・ 看看連携 ・ 地域連携における看護職の役割 ・ 保健医療福祉関連職種を理解 ・ 看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規、倫理綱領、看護業務基準	
組織管理論 I	1) 組織マネジメント概論	・ 組織マネジメントに関する基礎知識 ・ 看護管理の基礎知識	15時間
	2) 看護実践における倫理	・ 看護実践における倫理的課題 ・ 倫理的意思決定への支援	
人材管理 I	1) 労務管理の基礎知識	・ 労働法規・就業規則 ・ 健康管理（メンタルヘルスを含む） ・ 雇用形態・勤務体制 ・ ワークライフバランス ・ ハラスメント防止	30時間
	2) 看護チームのマネジメント	・ チームマネジメント ・ リーダーシップとメンバーシップ ・ コミュニケーション	
		・ 看護ケア提供方式・ファシリテーション ・ 准看護師への指示と業務・看護補助者の活用	
	3) 人材育成の基礎知識	・ 成人学習の原理・役割理論・動機づけ理論 ・ 人材育成の方法	
資源管理 I	1) 経営資源と管理の基礎知識	・ 診療・介護報酬制度の理解 ・ 経営指標の理解 ・ 看護活動の経済的効果	15時間
	2) 看護実践における情報管理	・ 医療・看護情報の種類と特徴 ・ 情報管理における倫理的課題	
質管理 I	看護サービスの質管理	・ サービスの基本概念	15時間
		・ 看護サービスの質評価と改善 ・ 看護サービスの安全管理 ・ 看護サービスと記録	
統合演習 I	演習	学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する	21時間
特別講義		論文・レポートの書き方	3時間
総時間数			114時間

2)セカンドレベル

【教育目的】 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

【到達目標】 1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

教科目	単 元	教育内容	時間数□
ヘルスケアシステム論Ⅱ	1) 社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源) 構造と推移	15時間
	2) 保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、 訪問看護ステーション等	
	3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題	
組織管理論Ⅱ	1) 組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革 ・組織の意思決定	30時間
	2) 看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	
人材管理Ⅱ	1) 人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題	45時間
		・ストレスマネジメント ・ハラスメント予防策と対応	
	2) 多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成	
	3) 人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	
資源管理Ⅱ	1) 経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備	15時間
	2) 看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用	
質管理Ⅱ	1) 看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	30時間
	2) 安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策	
統合演習Ⅱ	1) 統合演習ⅡA	自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	45時間
	2) 統合演習ⅡB	地域包括ケアシステムの実現に向け、多職種連携、他施設連携のあり方について理解を深め、自部署の課題を明らかにし、解決策を考える	
	3) 実習	地域連携を理解するための他施設実習を行う	
特別講義		論文・レポートの書き方	3時間
総時間数			183時間

3) サードレベル

【教育目的】 多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

- 【到達目標】
1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考慮することができる。
 2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
 3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

教科目	単元	教育内容	時間数
ヘルスケアシステム論Ⅲ	1) 社会保障制度・政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 	30時間
	2) 看護制度・政策の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力 	
	3) ヘルスケアサービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） ・テクノロジーの活用 ・NGO、NPOのヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築 ・看護事業の開発と起業 ・在宅におけるヘルスケアサービス ・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス 	
組織管理論Ⅲ	1) 組織デザインと組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力 ・経営者としての成長と熟練 ・組織のデザイン・組織間ネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 	30時間
	2) 組織における倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・組織における倫理的課題 ・倫理的課題に対する組織的対応 	
人材管理Ⅲ	1) 社会システムと労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・能力評価のためのシステムの構築 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応 ・賃金制度・人事考課 ・労働関係法規の最新動向 	15時間
	2) 看護管理者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者の能力開発、活用 	
資源管理Ⅲ	1) 経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・医療経営の特徴と課題・戦略策定 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題 	30時間
	2) 財務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計・管理会計・資金管理 	
	3) 組織的情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規の遵守・地域における情報共有・活用 	
質管理Ⅲ	1) 経営と質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンスとアカウンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用 ・医療・看護の質とデータ活用・第三者評価 	30時間
	2) 組織の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策 ・危機管理 	
統合演習Ⅲ	1) 統合演習ⅢA	学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する	45時間
	2) 統合演習ⅢB	21世紀の望ましい保健医療福祉政策について、看護の視点から政策の提言ができる	
	3) 実習	経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する	
総時間数			180時間

4. 受講要件・開催期間・応募期間

	受講要件	開催期間	応募期間
ファーストレベル	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理業務に関心がある者。	第41回(定員70名) 2024年6月5日(水) ~8月8日(木) (21日間)	2024年2月1日 ~2月15日 ※提出書類は消印有効 (第41回・第42回とも同時募集)
		第42回(定員70名) 2024年10月3日(木) ~年12月13日(金) (21日間)	
セカンドレベル	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当*の職位に1年以上就いている者。 ※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場指す。	第25回(定員50名) 2024年9月3日(火) ~12月18日(水) (33日間)	2024年5月16日 ~5月31日 ※提出書類は消印有効
サードレベル	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	第14回(定員30名) 2024年7月4日(木) ~10月4日(金) (32日間)	2024年3月1日 ~3月10日 ※提出書類は消印有効

※開催期間は一部変更することがあります。

5. 受験料・受講料

(税込: 税率10%・単位は円)

	受験料	受講料	修了審査料
ファーストレベル	3,300	145,200	11,000
セカンドレベル	5,500	217,800	16,500
サードレベル	11,000	297,000	22,000

※日本看護協会の非会員は受講料が2.5倍になります。

※お支払いいただいた受験料・受講料は返還致しません。

6. 申込方法

1) 申込方法

(1) マナブル(WEB)からの受講申込及び、受験料支払い方法を入力する。

①施設名は正式名称、氏名は看護師免許証に記載されている文字で入力する。

②受験料は、支払い方法を選択後、応募期間内に振込む。

※銀行振込み・コンビニ支払いを選択の場合、支払期限ではなく、応募期間内に振込む。

③ファーストレベルの受講申込者は、開催期間（第41回・第42回・どちらでもよい）の希望を選択する。

(2) 必要な提出書類を郵送する。

①提出書類は、福岡県看護協会ホームページよりダウンロードする。

②応募期間中に、「レターパック」で申し込む。

レターパック表面品名欄には、「〇〇レベル応募書類在中」と明記する。

2) 提出書類

	ファースト レベル	セカンドレベル		サードレベル	
		ファースト 修了者	ファース 未修了者	セカンド 修了者	セカンド 未修了者
受講出願リスト（様式1）	○	○	○	○	○
看護師免許証写し（A4に縮小）	○	○	○	○	○
小論文	○	○	○	○	○
ファーストレベル修了証写し		○			
セカンドレベル修了証写し				○	
勤務証明書（様式2）	○		○		○
職位証明書（様式3）			○		○

7. 小論文テーマ・小論文評価基準

1) 小論文テーマ

教育課程	テーマ
ファーストレベル	ファーストレベルの受講動機と、あなたの立場で考える自部署の課題について述べなさい。(内容に沿って適切なテーマを明記する)
セカンドレベル	あなたの部署・部門を現状分析し、あなた自身の取り組むべき看護管理上の課題を述べ、今後、どのように取り組んでいきたいかを述べなさい。(内容に沿って適切なテーマを明記する)
サードレベル	あなたの施設を現状分析し、取り組む課題について述べ、今後の対策を述べなさい。(内容に沿って適切なテーマを明記する)

*小論文については、以下に示す書式等に基づき作成する。

- ・ Word ソフトを使用する
- ・ 用 紙 A 4 用紙、縦置き、横書き
- ・ 枚 数 1 枚厳守 (表紙不要)
- ・ 文字(フォント)の書体 MS 明朝
- ・ 文字(フォント)の大きさ 10.5 ポイント、数字・英字は半角
- ・ ページ設定 <余白>上 : 25mm 下 : 20mm 左 : 20mm 右 : 20mm
 <文字数と行数> 1 行 40 字、1 ページ 46 行
- ・ 文字数 (本文のみ)
 - ・ ファーストレベル 600 ～ 800 字
 - ・ セカンドレベル 1,200 ～ 1,600 字
 - ・ サードレベル 1,200 ～ 1,600 字
 - ・ 文末に文字数を明記する

【記載例】

	提出 (西暦) 年 月 日
認定看護管理者教育課程○○○レベル	施設名 ○○○病院
	氏 名 福岡 協子
テーマ	
(1 行空ける)	
本文 (7 行目から)	
	(文字数 ○○○字)

2) 小論文評価基準

(1) ファーストレベルの評価基準

項目	評価の視点	配点
看護観 受講動機	<ul style="list-style-type: none"> 看護に対する信念・考え方が記述されている。 看護管理を学習したいという動機が明確である。 	60
内容	<ul style="list-style-type: none"> テーマに応じた内容が盛り込まれている。 倫理的な配慮がある。(対象特定への配慮、個人情報保護、対象者の不利益への配慮、著作権侵害、利益相反など) 	20
記述能力	<ul style="list-style-type: none"> 適切な言葉・表現を用い、文章が明確でわかりやすい。 誤字脱字など表記に誤りがなく、指定の様式が守られている。 	20
合計		100点

(2) セカンドレベル・サードレベルの評価基準

項目	評価の視点	配点
看護観 問題意識 受講動機	<ul style="list-style-type: none"> 看護管理者として看護に対する信念・考え方が記述されている。 看護管理上の課題が客観的に述べられている。 看護管理を学習したいという動機が明確である。 	30
概念化能力	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語や概念の解釈が適切である。 事実や経験、事象を概念に基づいて理解している。 	20
内容	<ul style="list-style-type: none"> テーマに応じた内容が盛り込まれている。 論旨が一貫している。 論理的に構成されている。 現状が分析されている。 倫理的な配慮がある。(対象特定への配慮、個人情報保護、対象者の不利益への配慮、著作権侵害、利益相反など) 	30
記述能力	<ul style="list-style-type: none"> 適切な言葉・表現を用い、文章が明確でわかりやすい。 誤字脱字など表記に誤りがなく、指定の様式が守られている。 	20
合計		100点

8. 選考方法

- 認定看護管理者教育運営委員会において、審議し決定する。
 - 提出書類の審査
 - 小論文を当協会の小論文評価基準に基づいて審査
- 会員・非会員は受講者選考に影響しません。

9. 選考結果の通知

- 本人宛に文書で通知する。
(ファーストレベル3月下旬、セカンドレベル7月上旬、サードレベル4月下旬)
- 受講内定通知と共に、受講手続きの案内と必要書類を送付する。

10. 修了要件（3 課程共通）

- 1) 教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう。
 - (1) 各教科目の所定時間数の 4/5 以上出席していること。
 - (2) 各教科目のレポート評価が C 以上（A・B・C・D の 4 段階）であること。
A : 80 点以上 B : 79 点～70 点 C : 69 点～60 点 D : 59 点以下
- 2) 修了判定について
認定看護管理者教育運営委員会の審議を経て、修了要件に基づき修了を判定する。
修了を認められた者に、認定看護管理者教育課程ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの修了証を発行する。

11. 個人情報の取り扱い

認定看護管理者教育課程では、福岡県看護協会個人情報保護方針に準じて、責任を持って個人情報の保護を行っております。また、認定看護管理者教育課程の研修修了履歴は、日本看護協会会員用 WEB サイト「キャリアナース」にも登録されますが、皆さまよりいただいた個人情報は、適切に管理し、提供者本人に通知することなく第三者へ開示することはありません。

認定看護管理者教育課程に出願されるにあたり、出願書類にご記入いただいた出願者の氏名、職務経歴及びその他の個人情報につきましては、受講者の選抜ならびに受講の手続きに使用させていただきます。

また、受講を許可された受講者の個人情報のみ、教務関係及び支援関係に使用します。これらの目的を超えて個人情報を取り扱うことはありません。

書類提出・問い合わせ先

〒812-0054 福岡市東区馬出 4 丁目 10 番 1 号 ナースプラザ福岡

公益社団法人福岡県看護協会 教育研修部教育研修課

認定看護管理者教育課程○○○レベル担当宛（教育課程名を記入）

TEL 092-631-1224

受講出願リスト

(必要事項を記入し、提出書類と共に同封してください。)

(西暦) _____ 年 ____ 月 ____ 日

【受講者名、所属施設名を記入して下さい。】

(ふりがな) 受講者名	(ふりがな) 施設名 (部署 _____)
----------------	----------------------------------

【該当する項目に☑及び、提出する書類に☑して下さい。】

	受 講 要 件	提 出 書 類 確 認
☐ フ ア ー ス ト レ ベ ル	<p><ファーストレベル応募者が対象></p> <p>☐ 1. 看護師の資格取得後、実務経験が通算5年以上ある者</p>	<p>☐看護師免許証写し(A4に縮小)</p> <p>☐小論文</p> <p>☐勤務証明証(様式2)</p>
☐ セ カ ン ド レ ベ ル	<p><セカンドレベル応募者が対象></p> <p>☐ 1. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者</p>	<p>☐看護師免許証写し(A4に縮小)</p> <p>☐小論文</p> <p>☐ファーストレベル修了証写し</p>
	<p>☐ 2. ファーストレベルを修了していない者で、看護部長相当の職位にある者、または副看護部長相当の職位に1年以上就いている者 (副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。)</p>	<p>☐看護師免許証写し(A4に縮小)</p> <p>☐小論文</p> <p>☐勤務証明書(様式2)</p> <p>☐職位証明書(様式3)</p>
☐ サ ー ド レ ベ ル	<p><サードレベル応募者が対象></p> <p>☐ 1. 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者</p>	<p>☐看護師免許証写し(A4に縮小)</p> <p>☐小論文</p> <p>☐セカンドレベル修了証写し</p>
	<p>☐ 2. セカンドレベルを修了していない者で、看護部長相当の職位にある者、または副看護部長相当の職位に1年以上就いている者</p>	<p>☐看護師免許証写し(A4に縮小)</p> <p>☐小論文</p> <p>☐勤務証明書(様式2)</p> <p>☐職位証明書(様式3)</p>

<様式 2 >

本書1枚で「実務経験5年以上」を証明できない場合は、複数枚を提出してください。

公益社団法人福岡県看護協会
認定看護管理者教育課程

勤 務 証 明 書

記入日 西暦 年 月 日

氏名 _____

在職期間

上記の者は当施設において、看護師として以下の通り勤務している（した）ことを証明します。

西暦 _____年 _____月より _____年 _____月まで

在職 _____年 _____ヶ月間

施設名： _____

所在地： _____

施設長名： _____ 印

職 位 証 明 書

記入日 西暦 年 月 日

氏名 _____

上記の者は当施設において、以下の職位であることを証明します。
※下記 1) か 2) のどちらか該当する欄を選び記載をお願いします。

1) 看護部長相当の職位にある者

職位 : _____

2) 副看護部長相当の職位にあるもの

職位 : _____

3) 職位就任期間

西暦 _____年 _____月より現在まで
(または西暦 _____年 _____月まで)

施設名 : _____

所在地 : _____

施設長名 : _____ 印